



理科の授業で、着色した水に挿した花の変化を観察する子どもたち＝熊本市中央区の市国際交流会館

理科、算数…英語だけで

熊本市国際交流会館 ユニークな学習会

熊本市中央区の市国際交流会館で、外国人講師が小学生らに理科や算数などを英語だけで教えるユニークな学習会が開かれている。

帰国子女や英語力を付けた子どものためのインターナショナルスクール「マリースクール」(東京都港区)主催。代表の川崎美智子さん(59)が

同市出身で、「故郷の子どもたちに、本物の英語教育に触れる機会を提供したい」と昨年からはじめた。

コースは7月30日からの3日間と5日間。県内外の小学生6人が低学年と高学年に分かれて1日5時間、理科や算数、歴史などの授業を受けている。1日の理科の授業では、色水に一晚漬けた花を観察。児童らは「花びらの色が変わった」など気付いたことを出し合い、英文にまとめた。

川崎さんは「英語力を身に付けるには、子どもが『面白い』と思って取り組める教材が最適。来年以降も続けたい」と話した。(森紀子)